

大洲市復興計画を策定しました

1 復興計画の趣旨・目的

平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興に当たっては、市民・地域・行政が心を一つに全力を挙げて取り組まなければなりません。

復興計画は、きらめく大洲市の復活に向けて取り組むべき主要な施策や具体的な取り組みを体系的かつ時系列に整理し、復旧・復興と災害に強いまちづくりを着実に推進していくために策定するものです。

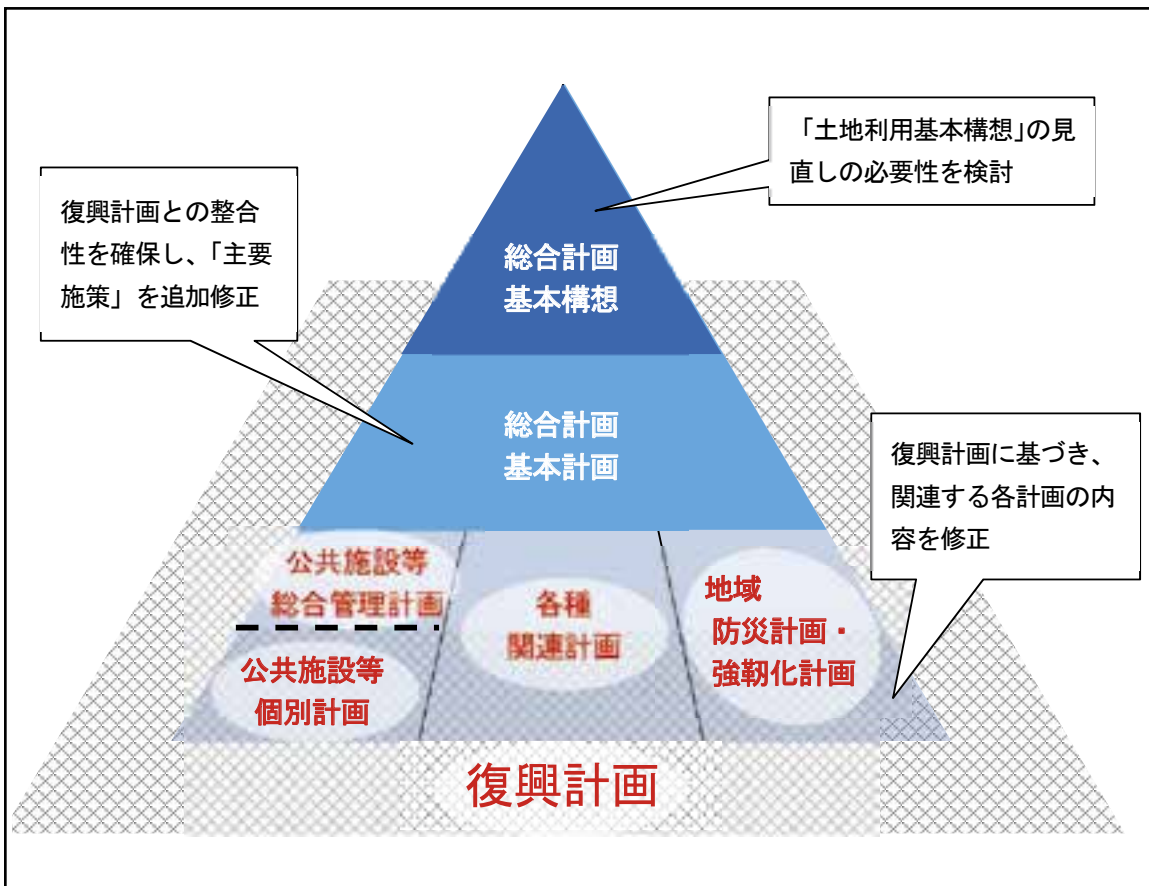
2 復興ビジョン・基本方針

「きらめく大洲をみんなで未来につなぐ」

先人が守り育ててきた「きらめく大洲」を市民のみなさんで手をつないで復興し、未来の子どもたちへつなげていくため、次の4つの項目を復興の柱に据え、復興に向けて取り組みます。

市民生活の再生
生活基盤の再生
経済・産業の再生
防災力の向上

3 復興計画の構成



4 計画期間

期 間	平成30年度	平成31年度・令和2年度	令和3～5年度
短期対策	→		
中期対策	→	→	
長期対策	→	→	→

復興に向けた課題は、多岐に渡り、段階的かつ着実に取り組む必要があることから、平成30年度から令和5年度までの6年間（河川激甚災害対策特別緊急事業期間）とします。

【経済・産業の再生】

- ▽基幹産業である農林業の復興を図るため、農地などの生産基盤の早期復旧や地域に適した振興策を推進するとともに、経営再建に対する支援を行います。
- ▽被災によって縮小した経済活動の復興と雇用の維持・創出を図るため、被災企業の早期の事業再開や地場産業の潜在力を活用した新たな産業の創出などを支援します。
- ▽観光資源の復旧・再整備や各種イベントの復活を目指すとともに、新たな視点での観光資源の開発に取り組みます。

【防災力の向上】

- ▽激甚災害対策特別緊急事業などの促進により、治水対策の強化を図ります。
- ▽地域防災計画および地域強靱化計画の見直しを行います。
- ▽災害時の多様な情報伝達手段の確保と連絡体制の強化を図ります。
- ▽市民の防災意識の啓発や自主防災組織の育成を図ります。
- ▽今回の災害を記録として残し、今後の災害への教訓とします。

【市民生活の再生】

- ▽住宅に関しては、応急仮設住宅や民間借り上げ住宅への入居、住宅の取り壊しや再建に係る支援を行ってきました。引き続き、被災者のニーズを把握しながら災害公営住宅の整備など、仮住まいの早期解消に向けた取り組みを行います。
- ▽被災者の不安を解消するためのメンタル相談や健康指導を進めるほか、子どもの学習環境や子育て環境を整えます。
- ▽地域コミュニティの再生に向けて、コミュニティ施設の再建に取り組むとともに、自治会などに対しての支援を行います。
- ▽大洲市の元気活力のため、復興に向けたイベントを開催します。

【生活基盤の再生】

- ▽災害に強いまちづくりの根幹となる道路や河川、上水道、下水道などの早期本格復旧を進めます。
- ▽大洲市公共施設等総合管理計画の基本的な考え方を十分考慮しつつ、公共施設などの早期復旧、機能回復に取り組みます。
- ▽災害に強い情報通信網の再整備を進めます。

復興支援課
【問い合わせ先】
☎ 099-9989



<http://www.city.ozu.jp/soshiki/fukkou/31969.html>

大洲市復興計画全編については、市公式ホームページに掲載しています。

大洲市復興計画

復興ビジョン
(4項目)

基本方針
(14項目)



＜施策体系＞
ビジョン別実施計画＜88事業＞の推進
地区別実施計画の策定・推進

新就職者の門出を祝って

第55回新就職者激励大会が4月19日(金)、リジエール大洲で開催され、新たに大洲市内の企業に就職した新就職者のうち63人が出席しました。

主催者代表あいさつでは、二宮市長が「成功の対義語は、失敗ではなく挑戦しないことである。失敗しても得たものがあれば、決して無駄にはならない。その若さと感性を生かして、失敗を恐れず挑戦し続けてほしい」と述べました。

続いて社会人の先輩である、伊予銀行の柴田穰^{じよう}さんが「若さと情熱を持って自己研さんに励み、1日1日を大切にしながら自分の道



を切り開いてほしい。輝かしい社会人としての活躍を期待している」と激励の言葉を送りました。

新就職者を代表して、株式会社テレファームの高橋幹^{かんた}太さんと、丸三産業株式会社の宮内凜^{りん}さんが「与えられた仕事だけでなく、地域活動にも取り組み、大洲市の復興につなげたい。自己啓発に努め、温もりのある地域社会づくりに貢献したい」とあいさつしました。

その後、交流会が行われ、新就職者のみなさんは名刺を交換するなど、情報交換や新たな人脈づくりをしていました。また、新就職者による自己紹介では、それぞれが抱負や決意を発表しました。

大洲市の復興を願って

模型制作代行業として働く野口勝也^{かつや}さん(菅田町菅田)が、市に「宇宙戦艦ヤマト」の模型を寄贈するため、4月10日(水)、市役所を訪れました。

寄贈された模型は、松本零士^{れいじ}さんが監督を務めた「宇宙戦艦ヤマト」に登場する艦艇を忠実に再現しています。野口さんは、「ヤマト作品での地球の完全復興と同じく、大洲市の復旧・復興を願っています」と話しました。



沖浦観音 御開帳

沖浦観音春季大祭が、4月17日(水)、長浜町沖浦にある瑞龍寺^{ずいりゅうじ}で開催されました。大祭に併せて、お寺に祭られている国指定重要文化財の「十一面観世音菩薩立像^{かんぜおんぼさつりゅうざう}」の特別一般公開も行われ、多くの人が参拝していました。

天候にも恵まれ、露店出店や餅まき・福まき、各種イベントなど、盛大に大祭が執り行われました。



交流人口に向け観光拠点を整備

観光客へのおもてなし空間として、ＪＲ伊予大洲駅構内に「伊予大洲駅観光案内所」と「公衆トイレ」が新たに整備され、開所式が４月１９日（金）、駅構内の会場で開催されました。

二宮市長は、「大洲を訪れた観光客の拠点として利用してほしい。今日を観光ＰＲの新たなスタートとして、インバウンド対応の強化や、交流人口増加に向けた観光メニューの充実に取り組みたい」とあいさつしました。

また、四国旅客鉄道株式会社の代表取締役社長の半井真司さんは



「大洲長浜線は、昨年１００周年を迎えた。これからも、観光振興を市と協力し、一層の誘客や情報発信に取り組んでいきたい」と述べました。

観光案内所内には、物産販売コーナーが併設され、志ぐれなどの大洲の特産品が購入できます。また、駅からの移動のためにレンタサイクルも整備されました。

開所式では、大洲市と四国旅客鉄道株式会社による「伊予大洲駅マチカヅプロジェクト」に関する協定が締結され、駅とその周辺地域を活用する地域活性化事業が行われる予定です。

大きく育ってね

うかいの成功と肱川での豊漁を願い、大洲市観光協会による稚アユの放流が、４月１５日（月）、如法寺河原で行われました。

この日は晴天に恵まれ、肱川漁業協同組合の協力のもと、肱南保育所の園児１０人が、「大きくなってね」とのかけ声とともに、稚アユを小さなバケツから川へ放しました。

この日放流された７～８ｃｍの稚アユは、魚が解禁となる６月には２０ｃｍ前後に成長するそうです。



２つの災害を乗り越えた車

宮城県かなみ もりのNPO法人「だざいきやう奏海の杜」（理事長：太齋京子さん＝写真左）は、平成３０年７月豪雨災害で車３台が被害に遭ったNPO法人「あゆみ歩」に対し、８月から福祉車両を無償で貸与していました。その福祉車両の返還が、４月２７日（土）に行われました。

「歩」の白石美月理事長（写真右）は「９カ月間、ほぼ毎日使用しました。さらに、車椅子搭載が可能であり利用者も喜んでいました。感謝の気持ちでいっぱいです」とお礼の言葉を述べました。



【トマト親子丼】



材料（4人分）

米	2 合	
鶏もも肉	100 g	
新タマネギ	200 g	
トマト	1 個	
A	だし汁	2 カップ
	薄口しょうゆ	大さじ 2
	みりん	大さじ 2
	砂糖	大さじ 1
卵	4 個	
のり	適量	
みつば	適量	

作り方

- ① 米は洗っていつも通りの水加減で炊く。
- ② 鶏もも肉は一口大に切り、新タマネギは薄切りにする。
トマトはヘタを除いて湯むきし、12等分のくし型に切る。
- ③ フライパンにAと鶏肉、新タマネギを入れて、火にかけ煮立ったら鶏肉を裏返しトマトを加える。
- ④ ③に溶いた卵を回し入れフタをして、半熟に固まったら火を止める。
- ⑤ 丼にご飯を盛り、④を載せる。刻んだみつば、ちぎったのりを載せる。

「トマトが赤くなると医者が青くなる」と言われるように、トマトには栄養がたっぷり詰まっています。トマトに多く含まれるビタミンCにはコラーゲンの合成を助け、シミ、そばかすを予防し、肌にハリを与える効果があります。また、ストレス解消や免疫力の強化にも効果的です。

【レシピ提供：大洲市保健センター】

野 鳥

カイツブリ（鳩）
カイツブリ目 カイツブリ科
全長 26cm



池や河川に生息する小さな水鳥です。「キュルルルルル…」とよく通る声で鳴き、潜水して水生昆虫や甲殻類、小魚を捕食します。警戒心が強く、目の前に現れたかと思うと、潜って遠くに浮かび上がります。水中は得意ですが、水面を蹴って助走をしなければ、飛ぶことは出来ません。

子育ては、枯れ草などを集めて巣を作り、水面上の浮き島で卵を温めます。ヒナが生まれると、背中におんぶする姿が親子愛を感じさせます。

しかし、今までになかった脅威が押し寄せています。それは、人間が勝手に持ち込んだ外来魚です。動くものは何でも飲み込んでしまうオオクチバスなどは、いとも簡単にひなを餌にしまいます。外敵だけでなく、営巣期と重なる梅雨にも耐えて、巣立っていくカイツブリを見ていると、鳥も人間も子育ては、決して生易しいことではなく、エールを送りたくなります。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト⑤

文化財

武田敬孝・成章兄弟生誕地
大洲市指定史跡
個人所有



武田敬孝は文政3（1820）年、武田成章は文政10（1827）年に、この地で生まれました。

兄の敬孝は、大洲藩校明倫堂の教授などを務め、藩主に対して藩政改革を勧めたほか、藩論を勤王へと導きました。また、文久3（1863）年に京都で起きた「八月十八日の政変」では藩主とともに御所を警護しました。

弟の成章は、大坂の緒方洪庵に蘭学を学び、その後、佐久間象山に兵学を学びました。ロシア海軍提督プチャーチンとの折衝の際には通訳を務めました。また、日本城郭史上初となる西洋式城郭の五稜郭（函館）を設計したことは有名です。

敬孝と成章は、ともに幕末から明治にかけて活躍した大洲を代表する偉人で、本史跡はその兄弟の生誕地として貴重であるといえます。

（昭和44年2月21日指定）